

## 「タブレット PC “ipad”の活用実践集」

米子市立加茂小学校

平田 辰弥

### はじめに

現学習指導要領において、教育の情報化が謳われたことで、学校の ICT 化が進められ始めました。「教育の情報化ビジョン」（平成 23 年 4 月 文部科学省）には、“21 世紀に生きる子どもたちに求められる力をはぐくむ教育を行うためには、子どもたちの学習や生活の主要な場である学校において、教育の情報化を推進することが必要である。”と書かれています。そして、その中の情報機器の活用例の中のほとんどの場面で、タブレット PC が使われている様子が描かれています。

学校現場にも徐々にタブレット PC が導入され始め、教育にどのように生かすべきか、様々な実践が行われています。本校においても、今年度から“ipad”が導入することができ、様々なアプリや機能を活用し実践に取り組むことにした。

### “ipad”を教育に活用する際の利点及び欠点

**利点**・・・視覚的直観的な学び、興味関心を引き付ける効果

- ビデオ視聴・・・YouTube やデジタル教材など。
- 画像や映像の提示・・・撮ったその場で観ることができる。
- 教育用アプリの活用・・・子ども向け学習アプリ、教員向け授業研究アプリ

**欠点**

- 台数に限りがある。
- 画面が小さいので大人数で共有しにくい。

## 実践紹介

### ① Apple TV による、液晶 TV・プロジェクターへのミラーリング

#### i 活用場面

- ・画像や学習アプリの全体共有
- ・カメラを用いて投影機として活用  
→自由に持ち歩くことができる

実物投影機

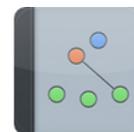


#### ii 活用してみた

ワイヤレスで iPad の画面を、液晶テレビにミラーリングできるので、教師の立ち位置を制限されずに、全体に見せたい映像を映すことができ、便利であった。また、ミラーリングをしながらの iPad の持ち歩きも可能なので、移動式実物投影機として活用できた。

### ② iPad で授業記録&授業研究会

授業研究会にて、授業記録・授業研究アプリ「LessonNote」を使用した。取り扱い方法については、<http://lessonnote.com/jp/>を参照。



LessonNote

#### i 特徴

- ・無料ダウンロード
- ・授業記録のデータ化が可能
  - 保存、整理が簡素化される。
  - 授業の流れが時系列で記録されるので時間の流れがわかりやすい。
  - 授業の場面をその場で写真に撮り記録し、後に記録と並べて閲覧できる。
  - 授業の客観的なデータの閲覧ができる。
    - ・児童ごとの発表回数、発表時間
    - ・活動の種類（全体、個人、グループ、ペア）の時間の推移
    - ・教師及び児童の話した時間

#### ii 活用してみた

授業の記録とともにその時の風景写真も記録できるので、後に振り返った際

に、場面の想起がしやすかった。その画面をプロジェクタなどで大きく提示することにより、大人数の研究会でも活用することができた。また、客観的なデータを参照することにより、授業の全体像をつかみやすく、改善すべきポイントがより明確にわかるようになった。

しかし、画面をなぞって文字を書くことが難しく、読みにくい字になってしまった。また、教師の記録と児童の記録が横並びではなく、同列に並ぶので、相互関係が見づらいところが難点であった。

### ③教育用アプリ活用事例

数ある教育用アプリの中から適切なものを選定し実践を行った。実践した主なアプリは以下の通りである。

#### ① 「pTimer」

時間の経過が、色の変化により視覚的に分かるアプリ。通常学級において、時間を意識付ける目的で使用した。最初はタイマーを見て動く子どもたちであったが、徐々に時間を減らしたり、時にはタイマーを無くしたりしながら、時間の感覚を掴ませることができた。



項目を設定



タイマーが色と共に動き出す

## ② 「Educreations」

撮影した画像に、書き込みや音声を入れることができる。言葉のかたまりを理解しづらい児童への個別の支援として使用し、スラスラと音読ができなかった児童が、言葉のかたまりを意識しながらスラスラと音読できるようになった。

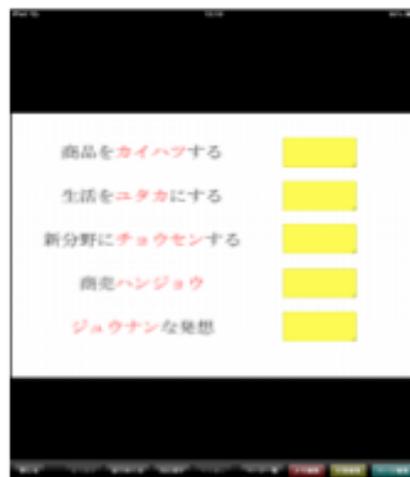
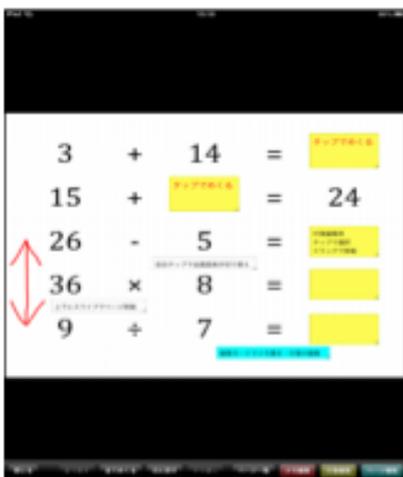
## ③ 「かなもじ」

平仮名や片仮名の学習を直感的に楽しく学習できるアプリ。文字が形になりにくい、覚えにくい児童に対し、個別学習で使用した。書くことを極端に嫌っていた児童だったが、意欲的に学習に取り組み少しづつであるが、定着しつつある。



## ④ 「AC Flip」

撮影した画像の自由な場所に付箋を貼り、フリップのようにできるアプリ。算数や国語の授業において、重要な部分や考えさせたい部分を隠して提示し、付箋をはがすことで、楽しく学習することができる。



### 成果と課題

#### 成果

- ・ appleTVにより、簡単に大画面で提示でき、1台でも大人数での共有が可能となった。
- ・ LessonNoteによる授業研究会にて、協議内容の共通理解が容易にできた。
- ・ 教育アプリの活用により、個別の支援が必要な児童の学習の充実・視覚的支援の充実ができた。

#### 課題

- ・ 環境整備が長期的 → 本校ipad 1台、appleTV 1台、小型無線LAN 1台  
大型液晶テレビ・・・年次計画
- ・ 無料のアプリのみインストール可能  
→ 有料を使うには学校用クレジットカードが必要